



保護者の皆様には、昨年12月に実施いたしました学校アンケートへのご協力、ありがとうございました。このたび、集計と結果分析をいたしましたのでお知らせします。生徒、保護者ならびに教職員の評価をそれぞれ4段階の数値(平均)で示しています。なお、()内の数値は昨年度の平均値となります。文字が小さくなりすぎません。

【令和6年度】学校自己評価票と学校アンケートの集計及び考察				四日市市立大池中学校			
領域	診断内容	設問内容	※()昨年度			項目別分析	
			教職員用	生徒用	保護者用		
教育目標	学校教育目標・教育ビジョンの適正	教 1 大池中では、学校教育目標や重点目標が生徒や地域の実態に即した適切なものになっている。	1 (3.2)	1	1 (3.1)	学校教育目標、重点目標ともに昨年度比較で教職員は0.1ポイント上がっているが保護者結果は0.1ポイント下がっている。概ね本校の実情に応じたものであると判断できる。年々変化していく生徒の実態を考慮して、学校教育目標・教育ビジョンを設定していくことが必要である。	
		生 1	3.3	3.0			
		保 1 大池中の学校教育目標・重点目標は、子どもや地域の実態から見て適切なものになっている。					
	学校教育目標・教育ビジョンの実現に向けた努力	教 2 大池中では、学校教育目標・教育ビジョンの実現に向けた取り組みを十分に行なっている。	2 (3.1)	2 (3.3)	2 (3.0)	数値としては、昨年度比較で保護者結果は昨年度と同じであった。教職員と生徒からの評価は上がっている。生徒からの評価が高いのは、さまざまな面で良い学校にしようとする努力を、実感できているからと思われる。信頼される良い学校を目指し、全校の取り組みとして推進する。	
		生 2 大池中の先生たちは、この学校をさらに良い学校にしようとする努力をしている。	3.3	3.4	3.0		
		保 2 大池中は、学校教育目標・教育ビジョンの実現に向け、努力している。					
やる気を育てる授業	教 3 大池中では、授業等において学習意欲の向上に努力している。	3 (3.3)	3 (3.2)	3	昨年度に比べ、教職員・生徒ともに0.1ポイントずつ上がっている。各教科授業において、ペア学習やグループ活動を取り入れて生徒同士の意見を出し合って考える機会が多く設定されている。このことにより、意欲的に取り組む生徒が増えていると考えられる。また、ICT機器の活用も自信の考えを表現することでスムーズな交流ができている。		
	生 3 少人数授業(先生が2人体制)では、よく理解できる。(うけている人のみ回答)	3.4	3.3				
	保 3						
基礎・基本の定着	教 4 大池中では、基礎・基本の内容を定着させるための授業改善を図っている。	4 (3.3)	4 (3.3)	4 (2.9)	昨年度に比べ、教職員・生徒ともに0.1ポイントずつ上がっている。一方、保護者結果は0.1ポイント下がっている。ICT機器を効果的に活用することで生徒の理解がより一層深まっていると考えられる。生徒は、振り返りシートや単元テストなどを取り組むことで自身の学習を振り返ることができた。		
	生 4 大池中の先生たちは、授業で基本的な内容をわかりやすく教えている。	3.4	3.4	2.8			
	保 4 大池中では、わかりやすい授業づくりに取り組んでいる。						
問題解決能力の向上	教 5 大池中では授業等において問題解決学習に準じた授業づくりを適宜行っている。	5 (3.1)	5 (3.4)	5	高い数値を維持できた。各教科で課題解決にむけたグループワークなどを多く取り入れている。レポートやパフォーマンス課題などを与え生徒同士で取り組む場面が設定されている。行事においても学級や学年のリーダーを中心に企画・運営をし、生徒の成長を促していると考えられる。		
	生 5 大池中での授業や行事(体育祭、文化祭の話合いなど)を通して、生活や学習の問題を解決する力がついてきている。	3.3	3.4				
	保 5						
ICT機器の活用	教 6 授業ではICT機器(学習用タブレット等)を効果的に活用するよう努めている。	6 (3.4)	6 (3.4)	6 (2.9)	多くの授業で機器を使うようになった。また、授業以外に活用の場面は増えている。活動目的にあわせたより効果的な活用方法を研究し、生徒の力を育てていきたい。それに平行して、デジタルデバイスとのかわり方について指導する必要がある。特にSNSやネット依存の問題には、家庭と協力して進めていかなければならない。		
	生 6 大池中では授業中に学習用タブレットを積極的に活用している。	3.5	3.3	2.7			
	保 6 子どもたちは家庭学習で学習用タブレットを適切に活用している。						
特別活動・行事の充実 特別支援教育の充実	教 7 大池中では、体育祭、文化祭、修学旅行や自然教室等の行事に目標があり、有意義に実施している。	7 (3.3)	7 (3.7)	7 (2.9)	保護者の参観が可能となったが、人数制限や入れ替え制、駐車場の確保などの観点から保護者結果につながっていると考えられる。実行委員会を開催し、生徒中心に運営などを進めることができた。		
	生 7 大池中で行う体育祭、文化祭、修学旅行や自然教室等の行事に楽しく参加している。	3.5	3.7	2.9			
	保 7 大池中の子どもたちは、自分の力を発揮して、学習や様々な活動に意欲的に参加している。						
道徳・人権学習の推進	教 8 大池中では「心の教育」の充実のため、道徳や人権教育の推進に努力している。	8 (3.3)	8 (3.8)	8 (2.9)	昨年度同様に生徒の値が高いことが目立つ。各調査からも同様な結果を得られていることから、人権に対する生徒の意識が高いと言える。人権教育をはじめ、あらゆる教育活動で差別を許さない「心の教育」を引き続き推進していきたい。		
	生 8 いじめや差別はどんな理由があってもいけないと思う。	3.3	3.8	2.9			
	保 8 大池中は、いじめや差別などさまざまな課題について、指導をしている。						
進路指導の充実 時代の変化に対応する教育の推進	教 9 大池中では、生徒一人ひとりの進路保障に向け、3年間を見通した進路指導や情報提供を行っている。	9 (3.1)	9 (3.4)	9 (3.0)	教職員・生徒・保護者ともに昨年度の数値を上回った。受験対策のセミナー学習や総合的な学習の時間などを活用し、卒業後に必要な力を養う機会を確保できている。高校見学会が家庭と高校のやり取りに移行していることもあり、保護者も積極的に高校の情報収集を行っていると考えられる。進路指導の充実には継続し、保護者に対し、説明会や通信等で周知していきたい。		
	生 9 大池中で行われている職場体験学習(2年生)、高校体験入学(3年生)などを通して、自分の将来や進路についての関心が高くなった。(2・3年生のみ回答)	3.2	3.5	3.2			
	保 9 大池中で行われている職場体験学習(2年生)、高校体験入学(3年生)等の進路学習は、家庭で子どもの将来について話し合う機会となっている。(2・3年生のみ回答)						
適切な評価	教 10 大池中では、学習における生徒の努力や学力を適切に評価している。	10 (3.2)	10 (3.3)	10 (3.0)	シラバスや三者懇談会時に各教科からの様子が伝わるように努めた。評価の付け方が変わり4年目となるが、再度丁寧に説明をしていく必要がある。授業においては、振り返り記入やレポート課題などを一方的に与えるのではなく、フィードバック実施し、粘り強く取り組めるような支援をしていくことが必要だと考えられる。		
	生 10 大池中の先生たちは、学習の評価を適切にしている。	3.4	3.4	2.9			
	保 10 大池中は、子どもたちの努力や学力を適切に評価している。						
家庭学習の習慣化	教 11 大池中では、家庭学習の重要性を理解させ、学習習慣の定着に努めている。	11 (3.0)	11 (3.2)	11 (2.6)	教職員、生徒の数値は高いが、保護者の数値が低くなっている。タブレットを活用した学習が進むことで保護者から学習の様子が見えづらくなっていると考えられる。様々な学習支援ツールがあることを保護者に伝え、より一層学校と家庭との連携や協力が大切だと考えられる。		
	生 11 大池中で出される宿題や家庭学習をきちんとしている。	3.2	3.3	2.6			
	保 11 子どもは、家庭学習の習慣が身につけてきている。						

生活面	仲間づくり	教 12	大池中では、学校が生徒の心の居場所になるような学年・学級づくり、部活動に努めている。	1 2 (3.2)	1 2 (3.5)	1 2 (3.3)	数値から見ると、昨年同様の成果が得られているように感じる。個別の意見を見ても、生徒が行事に向けて頑張っていきたいや、もっと頑張りたいと書いており、関わり合いを増やしていきたいと考えている生徒が多くいることが見てきた。 自ら関わるきっかけを求めている生徒もいることを念頭に置き、取り組み、声かけを考えていきたい。
		生 12	大池中での学級や友達との関係は、うまくいっている。	3.3	3.5	3.2	
		保 12	大池中での学級や友達との関係は、良好で、楽しく学校へ行っている。				
	生徒指導の充実	教 13	大池中では、生活習慣や生活上のルールなど、生活の基本事項の定着を図っている。	1 3 (3.3)	1 3 (3.4)	1 3 (3.1)	言葉かけを考えてほしいや、もっと厳しく指導してほしいなど様々な声があった。数値として大きな変化はないが、生徒・保護者を含め多様な価値観があることが見える結果となった。なぜルールが必要なのか、中学校生活でどんな力を身につけさせたいのか、教職員一人ひとりの考えでばらつくのではなく、学校教育ビジョンの基、足並みをそろえていけるとよいと感じた。
		生 13	大池中では、学校生活のルールが守られている。	3.3	3.3	3.0	
		保 13	大池中では、子どもたちに基本的な生活習慣や生活上のルールを教えている。				
	生徒理解	教 14	大池中では、生徒とのふれ合いを大切に、生徒の心に寄り添う生徒指導に努めている。	1 4 (3.3)	1 4 (3.1)	1 4 (3.0)	教職員、生徒は数値として満足感を得ているが、保護者ももっと子どもたち一人ひとりの声を聞いてほしいと願っている。一人ひとりのことを考えた言葉かけや支援が教職員として必要なのではないかと感じた。 また、悪い時だけでなく良いことも保護者に伝えていけることで、学校と保護者が足並みを揃えて指導していけるのではないかと感じた。
		生 14	大池中内に自分の思いや悩み、心配ごと等をわかってくれている先生がいる。	3.4	3.3	2.8	
		保 14	子どもは、大池中の先生と話やすく、相談できる状況にある。				
	部活動の充実	教 15	大池中では、生徒の主体性を重んじた部活動の指導に取り組んでいる。	1 5 (3.1)	1 5 (3.4)	1 5 (3.1)	前年度よりも教職員・生徒の数値が上がった。考えられることとしては、全員加入性ではなく、自主的・自発的な加入になったことが大きな理由だと考えられる。保護者結果は以前と同じだということは、夏の熱中症対策などで部活動減や活動内容等に係ることが考えられる。
		生 15	大池中の部活動は、楽しく充実している。(3年生：部活動は楽しく充実していた。)	3.3	3.5	3.1	
		保 15	子どもは楽しく大池中の部活動に参加している。(3年生：子どもは楽しく大池中の部活動に参加していた。)				
	豊かな人間性の育成	教 16	大池中では、生徒の個性を生かした指導を行っている。	1 6 (3.0)	1 6 (3.2)	1 6 (2.9)	生徒の意見の中には行事を通して頑張っていきたい、今ある環境の中で精一杯やりたいと前向きに物事を捉え、頑張ろうとしている生徒も多いため。 その生徒が抱える問題や思いにだけ教職員が気づき、互いに理解し向き合っていくことができるのか考えていく必要があるように感じた。
		生 16	自分にはよいところがあると思う。	3.2	3.2	2.8	
		保 16	大池中では、子どもたちを授業、行事、部活動等の中で個性を生かした指導を行っている。				
	保護者や地域の人たちとの連携	教 17	大池中では、「地域に関わられた学校づくり」をめざし、保護者や地域との連携に努めている。	1 7 (3.2)	1 7 (3.2)	1 7 (3.0)	体育祭や文化祭での参観の制限(人数の制限、入れ替え制)などが評価につながっていると考えられる。今後も保護者や地域と連携し教育的効果を上げる取り組みを進めていく。
		生 17	大池中での授業や行事の中で、ゲストティーチャーなど地域の方々に話を聞いて、地域への関心が高まった。	3.4	3.1	2.9	
		保 17	大池中での授業参観や行事などは、保護者や地域の人々が学校とつながる機会となっている。				
教 18		大池中の指定購入物品(制服・ジャージ等)は、適正な価格である。	1 8 (3.1)	1 8	1 8 (2.9)	本校指定購入物品について、早い時期から校内で、協議・共有し、保護者へは学校だより等で連絡していたものの、昨今の価格高騰の影響でいくつかの物品も値上がりをしたことが結果に出たと考えられる。今後も適正価格が維持できるよう努めていく。	
生 18			3.2		2.7		
保 18		大池中の指定購入物品(制服・ジャージ等)は、適正な価格である。					
危機管理体制(安全対策)	教 19	大池中では、安全・防災計画に基づいて日常的な指導がなされており、危機管理体制も整っている。	1 9 (3.0)	1 9 (3.4)	1 9 (3.1)	交通安全指導や計画的な防災訓練を行っているため、教職員、生徒の数値は高くなっていると思われる。しかし、今年度も、自転車通学による交通事故が数件発生している。今後も安全・防災計画の見直しを進め、交通安全教室や防災訓練等の行事、道徳の授業や学活等で危機管理意識を高める取り組みを進める。	
	生 19	交通事故や不審者、災害などから身を守ることができている。	3.3	3.4	3.0		
	保 19	大池中は、生徒が安心して学校生活が送れるように安全に配慮している。					
情報発信の努力	教 20	大池中では、各種の通信や懇談会、ホームページ等を通じて保護者への情報発信に努めている。	2 0 (3.5)	2 0 (3.3)	2 0 (3.1)	従来の、学校ホームページや学校だより、学年・学級通信に加えて、Home & schoolやGoogleクラスルームなどでも、様々な情報を伝達している。そのため教職員と生徒の評価が高くなっていると思われる。今後も、学校ホームページや学校だよりなどで、学校の様子を伝えていきたい。	
	生 20	通信や学校から配られたものを家の人にきちんと渡している。	3.6	3.3	3.1		
	保 20	大池中は、学級・学年・学校の通信や懇談会、ホームページなどを通じて、子どもや学校の様子を伝えている。					
情報受信の努力	教 21	大池中では、保護者や地域の人たちとの行事などを通して、さまざまな願いを把握する努力をしている。	2 1 (3.3)	2 1	2 1 (3.0)	教職員が保護者・地域の願いや思いを対話で受け止め、情報をより広く深く把握しようとしたことが伺える。保護者は少しずつであるが以前のように行事等に参加できるようになったが、制限を設けたことなどが結果につながっていると考えられる。今後も保護者や地域の方の願いや思いを少しでも受け止められるように取り組んでいく。	
	生 21		3.4		2.9		
	保 21	大池中は、保護者や地域の人たちの願いや思いを受け止める努力をしている。					
教職員の対応(接遇)	教 22	大池中では、保護者や地域の人たちからの問い合わせや来校者に対して誠実に対応している。	2 2 (3.5)	2 2	2 2 (3.2)	相手のことを考え、思いやりを持った対応を心がけていることが評価につながっている。今後も教職員のマナー講座等を開設し、言葉遣いははじめ、より丁寧な対応を心がけ、信頼される学校となるよう努める。	
	生 22		3.5		3.2		
	保 22	大池中(大池中の教職員)は、電話での問い合わせや訪問客などに誠実に対応している。					
学校施設・設備の環境整備、有効活用	教 23	大池中の施設や設備は、学習環境として、快適・安全に整備され、有効に活用されている。	2 3 (2.6)	2 3 (3.3)	2 3 (3.1)	校舎や設備は古いですが、生徒は掃除を丁寧に、物を大切に扱うため良い環境を維持することができている。また、破損等は直ぐに修繕を行うなど整備に努めていることが評価につながっている。今後も快適・安全に学校生活が送れるよう施設設備の充実を心がける。	
	生 23	大池中の施設や設備は、快適・安全に整備・修理され、勉強や部活動などがやりやすい。	3.0	3.3	3.0		
	保 23	大池中では、子どもたちが快適・安全に学校生活がおくれるように、施設や設備が整備・修理されている。					